

# 梅丘周辺のやさしいまちづくり



▲世田谷区立保健医療福祉総合プラザ「うめとびあ」



▲「うめとびあ」バス停から歩道を通りゆるやかな勾配のスロープでつながる通路です。連続して誘導用ブロックが敷設されました。

このマナーを  
これからも引き継いで  
どんどん広まると良いな。



世田谷区でのUDまちづくりは、昭和57（1982）年の「ふれあいのあるまちづくり」からスタートし、昭和60（1985）年の梅丘中学校前のふれあい通りの整備から始まりました。梅ヶ丘駅周辺からは放置自転車が無くなり、誰もが歩きやすい環境になりました。



梅ヶ丘駅周辺からは放置自転車が無くなりました。



▲緊急避難時に、車椅子利用者も段差無く出られ、一時避難できる「うめとびあ」のバルコニー。

## コラム 交通安全自転車課からのお知らせ

歩行者、自転車、自動車の共生に向けてUDが「できるだけ多くの人々が利用しやすい」を目指すと同様、交通ルールは道路上で歩行者、自転車、自動車が安全・安心に共生するためのきまりです。

自転車は車道左側の通行が原則。歩道を通行する場合は歩行者優先。交差点では一時停止して安全確認。13歳未満の子どもは必ずヘルメットを着用。なお、公園から道路への飛び出しはとても危険です。注意しましょう。



自転車は原則、車道左側を走ります。ただし、この標識がある歩道は、歩行者優先で、車道寄りを行進して走ることができます。

# 区立二子玉川公園

## ★ビクターセンターの前の遊具のある遊び場

遊び場は小さな子どもたちが親子で訪れ、いつもにぎわっています。

複合遊具や水遊びのできる水場、ゴムチップでできた築山（つきやま）、車椅子の親子も遊べる高い位置にある砂場、乳幼児連れに配慮したトイシ、屋内の休憩室など、親子で遊べる場となっています。



▲高い位置にある砂場



▲乳幼児連れに配慮したトイレ



▲複合遊具

## ★日本庭園「帰真園」

日本庭園「帰真園」は、設計時点から障害のある区民からの意見を取り入れ、多様な人が楽しめるUDの工夫がいたるところにしています。



▲池の端は広い幅で立ち上げてベビーカーの転落を防ぎ、白杖でも確認しやすくなっています。



▲滝から流れる溪流は、車椅子使用の人が間近で見ることができるところがあり、川面を見て、せせらぎの音が楽しめます。



▲石段の両側には、体を支えるため手をつく位置に背の高い石組みをしています。